エコアクション21
環境経営レポート
（活動期間：2023年10月～2024年9月）

2024年 10月 31日
飯島物産株式会社
代表取締役　飯島正三

目次

1. 事業および組織の概要

1）事業所名及び代表者氏名
2）事業規模
3）所在地
4）エコアクション２１責任者
5）事業内容
6）認定登録の対象範囲
7）許可の取得状況
8）施設等の状況
9）処理実績
10）処理料金

2. 環境経営方針

3. 業務フロー図

4. エコアクション２１実施体制図

5. 環境経営目標

6. 環境活動計画（対象部門、取組内容、責任者、スケジュール）

7-1. 環境経営目標の実績

7-2. 環境取組の結果・評価と次年度に向けてのコメント及び進め方

8. 次年度の目標及び行動計画

9. 環境関連法規の違反及び訴訟の有無

10. 代表者による評価と見直し

1. 事業概要

1） 事業者名及び代表者名		飯島物産株式会社 代表取締役　飯島正三
2）事業規模	会社設立	1964年2月3日
	資本金	4500万円
	従業員数	27名（令和6年9月30日現在）
	売上高	18億4000万円（令和6年9月期）
3）所在地	本社事務所	〒441-8016 愛知県豊橋市新栄町字東小向70番地の1 TEL　0532－31－2281 FAX　0532－31－9566 E-mail　info@iijima-n.co.jp
	産廃中間処理場	〒441-3124 愛知県豊橋市城下町字休場290番2 TEL　0532－23－6600 FAX　0532－23－6606
4）ｴｺｱｸｼｮﾝ21統轄責任者		代表取締役　　飯島正三
環境管理責任者		環境事業部部長　中西三和
連絡先（事務局）		TEL　0532－31－2281 FAX　0532－31－9566
5）事業内容	建材事業部	内装工事及び外装工事ならびに各種建材の販売
	環境事業部	産業廃棄物の中間処理（破砕・選別）及び収集運搬 浄化槽の保守点検業務 建物の解体処理等
6）当社認証・登録の対象範囲		全組織・全活動を認証・登録の対象範囲としている

7） 許可の取得状況

①産業廃棄物収集運搬業

許可番号	許可品目	取得日	有効年月日
愛知県第02300043961号	別紙参照1	平成8年12月3日	令和8年12月2日
静岡県第2201043961号	〃	平成9年2月12日	令和9年3月5日

①産業廃棄物処分業

許可番号	許可品目	取得日	有効年月日
豊橋市第09620043961号	別紙参照1	平成11年2月26日	令和11年2月25日

8） 施設等の状況

①収集運搬

a. 運搬車両の種類と台数　　別紙参照2

b. 積替保管施設の面積　　なし

②中間処理

a. 処理施設の種類　　中間処理(破砕)

b. 処理する産業廃棄物の種類・処理能力・処理方法

品　　目	処理能力	処理方法
がれき類	94．7t／日	破砕
ガラス・陶磁器くず	21．2t／日	破砕
廃プラスチック類	4．7t／日	破砕
金属	11．8t／日	破砕
木くず	13．2t／日	破砕
紙くず	14．1t／日	破砕
繊維くず	9．4t／日	破砕

c. 処理工程

廃棄物搬入
↓
破砕前処理(手選別)
↓
破砕
↓
搬出

9） 処理実績 (2023年10月1日～2024年9月30日)

a. 収集運搬量　　3,897t

b. 中間処理量　　3,427t

10） 処理料金

詳細については0532-23-6600までお問合せ下さい

※ 御見積は無料で承ります。

（参照別紙1）

許可品目

種別	自治体	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	がれき類	ガラス・陶磁器くず	燃え殻	汚泥
中間処理	豊橋市	●	●	●	●	●	●	●	－	－
収集運搬	愛知県	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	静岡県	●	●	●	●	●	●	●	●	●

種別	自治体	廃油	廃酸	廃アルカリ	動植物性残さ	ゴムくず	鉱さい	ダスト類	13号廃棄物
中間処理	豊橋市	－	－	－	－	－	－	－	－
収集運搬	愛知県	●	●	●	●	●	●	●	●
	静岡県	●	●	●	●	●	●	●	●

（参照別紙2）

運搬車両の種類と台数

	登録番号	積載量(t)	型式
1	豊橋100 す 4860	3.70	脱着装置付ｺﾝﾃﾅ専用車
2	豊橋130 さ 1996	3.60	ｺﾝﾃﾅ専用車
3	豊橋400 ち 8021	3.00	脱着装置付ｺﾝﾃﾅ専用車
4	豊橋100 す 3766	3.85	脱着装置付ｺﾝﾃﾅ専用車
5	豊橋100 す 3154	3.30	ﾕﾆｯｸ車
6	豊橋100 す 6286	2.00	ﾕﾆｯｸ車
7	豊橋400 つ 9852	1.45	ｷｬﾌﾞｵｰﾊﾞｰ
8	豊橋400 て 1464	1.45	ｷｬﾌﾞｵｰﾊﾞｰ
9	豊橋400 て 2945	1.45	ｷｬﾌﾞｵｰﾊﾞｰ
10	豊橋400 て 7930	3.00	ｷｬﾌﾞｵｰﾊﾞｰ
11	豊橋400 す 2406	0.35	ﾊﾞﾝ

２．環境経営方針

《行動理念》

飯島物産株式会社は、地域及び地球環境への影響を考慮し、
総ての事業活動において、その社会的責任を果たすために
エコアクション２１のシステムを導入し環境活動を展開します。

地域社会と協調し、環境にやさしい経営を進めると共に
地域社会に貢献する企業を目指し、社員一人ひとりが
創意と工夫を持って活動に取り組みます。

《行動指針》

１．事業活動に関わるなかで、以下の項目を重要項目として取組に努めます。
(1)　省エネ（電気・燃料）によるＣＯ２排出量の削減に努めます
(2) 産業廃棄物の適正処理とリサイクル促進に一層努めます。
(3) 水の使用量の削減に努めます。
(4) 施工現場における、環境に配慮した材料の使用、工法の取組に努めます。
これら案件について目標値を定め継続的改善に努めます。

２．事業活動に関連した環境関連法規を遵守します。

３．行政機関などの環境保全施策に積極的協力し、地域社会にける環境保全活動に参加します。

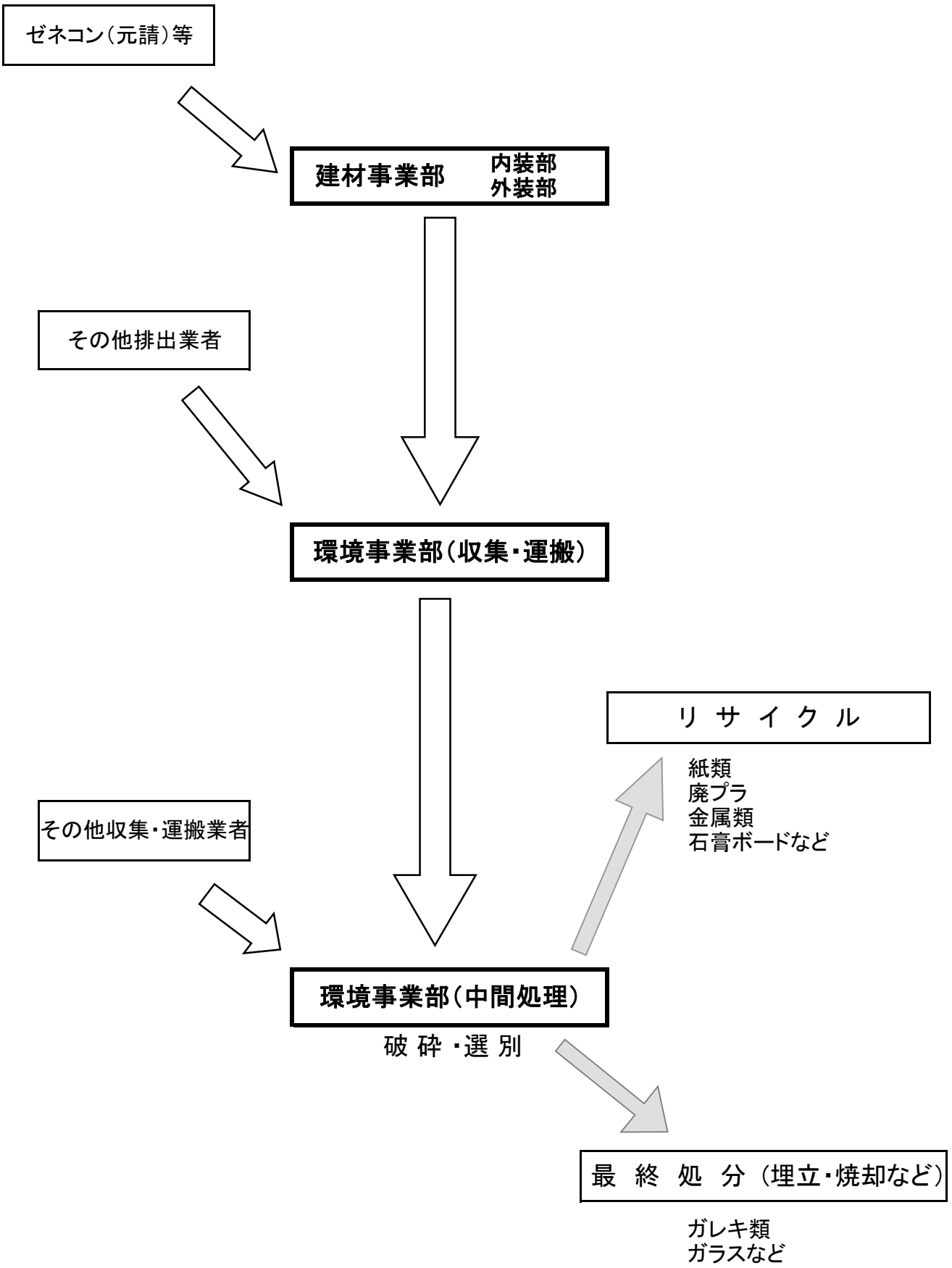
４．環境方針は社内に掲示し、朝礼、会議を通じ社員に理解を深め
積極的に取り組みに参加させます。

令和3年10月3日

飯 島 物 産 株 式 会 社

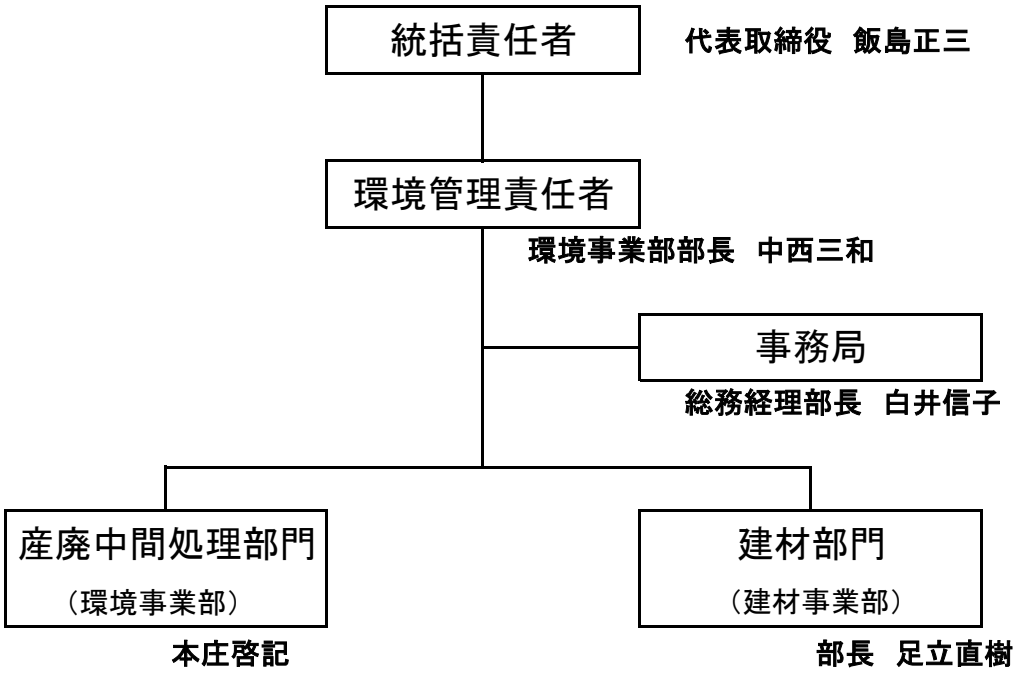
飯島　正三

３．業務フロー図


ゼネコン（元請）等
建材事業部
内装部
外装部
その他排出業者
環境事業部（収集・運搬）
リ サ イ ク ル
紙類
廃プラ
金属類
石膏ボードなど
その他収集・運搬業者
環境事業部（中間処理）
破 砕 ・選 別
最 終 処 分（埋立・焼却など）
ガレキ類
ガラスなど

４．エコアクション２１　実施体制図

飯島物産(株)
制定　2024/1/11



代表取締役
- *環境方針を定める
- *統括責任者の任命

統括責任者
- *環境システムの総責任者
- *システム全体の計画立案
- *評価の見直し

環境管理責任者
- *環境システムの管理補佐
- *環境関連外部との窓口

事務局
- *システム運用上の事務管理
- *文書の作成

部門責任者
- *部門の計画の実施責任者
- *実施状況の確認・記録

5. 環境経営目標

		部門	単位	基準値	2024年度目標	中期目標
				2023年度実績値	(2023年10月～2024年9月	2024年～2028年度
二酸化炭素排出量の削減 総排出量		全社	kg-CO2	209,350	2023年度比1%削減	2028年度までに2023年度比5%削減
	電気使用量の削減 ※1	事務	kWh	30,860		
		産廃		9,749		
	ガソリン使用量の削減	事務	ℓ	696		
		建設		7,144		
		産廃		2,741		
	軽油使用量の削減	建設	ℓ	15,148		
		産廃		47,682		
水使用量の削減		事務	m3	433		
		産廃		121		
廃棄物	建設廃棄物の削減	建設	t	288		
	中間処理埋め立て処分比率の削減	産廃	%	42.9 (2021～23年平均)	前年実績より2%削減 ※2	23年実績値より一層の削減
	一般廃棄物の排出抑制	事務		適正処理	排出抑制、分別によるリサイクルの促進	
化学物質の管理				適切な管理の実施	使用化学物質の安全データシート(SDS)の取得と適切な管理の実施	
地域環境への貢献活動など				年4回実施	年に4回の会社周辺の清掃活動	

※1 2023年度電力のCO2換算係数は中央電力の2021年度調整後排出係数0.490 kg-CO2/kWh を使用

6. 環境活動計画（対象部門、取組内容、責任者、スケジュール）

二酸化炭素排出量の削減		部門	取組内容
	電気使用量削減	事務 産廃	・昼休み時間の消灯、不要な電気の消灯 ・長時間の離席や不在の時はPCの電源を切る ・事務所内の冷暖房設定を適正化する（冷房26℃、暖房22℃）
	ガソリン使用量 軽油使用量 の削減	事務 建設 産廃	・エコドライブの実施 ・タイヤの空気圧を確認 ・不要な荷物の積載禁止
水使用量の削減		事務 産廃	・水をこまめに止める ・水道使用量の急激な増加に注意を払う（漏水の可能性大）
廃棄物	建設廃棄物の削減	建設	・自社現場から発生される廃棄物の分別リサイクル体制の構築
	中間処理埋め立て処分 比率の削減	産廃	・最終廃棄物のリサイクル化の一層の促進
	一般廃棄物の排出抑制	事務	・ゴミを分別しリサイクルに努める（地域へリサイクル品の提供） ・裏紙の活用（メモ用紙、コピーなど） ・使い捨て製品の使用や購入の抑制 ・文書の電子化による、ペーパーレスの推進
化学物質の管理		建設	・使用化学物質の安全データシート（SDS）の取得と適切な管理の実施
地域環境への貢献活動		全社	・年に4回の会社周辺の清掃活動

実施責任者:

本社事務所部門： 総務経理部 白井信子

建材部門： 建材事業部 足立直樹

産廃中間処理部門 環境事業部 本庄啓記

スケジュール:

ここ案件ごと毎月の実績値を記録し、6か月ごとにまとめ評価し、必要に応じ適切な対応を行う。

7-1. 環境経営目標の実績

		部門	単位	基準値	2024年度目標	実績値	評価
				2023年度実績値	2023年10月～2024年9月	2023年10月～2024年9月	
二酸化炭素排出量の削減 総排出量		全社	kg-CO2	209,350	207,257	199,587	○
	電気使用量削減	事務	kWh	30,860	30,551	27,736	○
		産廃		9,749	9,652	9,356	○
	ガソリン使用量の削減	事務	ℓ	696	689	738	×
		建設		7,144	7,073	6,366	○
		産廃		2,741	2,714	1,871	○
	軽油使用量の削減	建設	ℓ	15,148	14,997	14,408	○
		産廃		47,682	47,205	46,779	○
水使用量の削減		事務	m3	433	429	496	×
		産廃		121	120	235	×
廃棄物	建設廃棄物の削減	建設	t	288	285	192	○
	中間処理埋め立て処分比率の削減	産廃	%	42.9（2021～23年平均）	41.1（前年実績2%減）	44.6（22～24年平均）	×
	一般廃棄物の排出抑制	事務	t	適正処理	適正処理	適正処理	○
化学物質の管理				・使用化学物質の安全データシート（SDS）の取得と適切な管理の実施			○
地域環境への貢献活動など				・年に4回の会社周辺の清掃活動			○

2024年度電力のCO2換算係数は中央電力（株）の2021年度調整後排出係数0.490 kg-CO2/kWh を使用

7-2. 環境取組の結果・評価と次年度に向けてのコメント及び進め方

項目	部門	結果・評価と次年度に向けてのコメント
電力の削減 （二酸化炭素排出削減）	事務	毎年の夏の酷暑に対処するため、エアコンの設定ルールを設けず、適正な温度、風量で社員がストレスなく業務に勤しむようにしました。その一方で、働き方改革を推進し、業務の生産性を上げ、残業を減らすことにも取り組むことで、使用量の削減ををを目指します。長年の活動で社員の節電意識は十分浸透しており、他方、社員の健康にも配慮をし、来期も無理のない範囲で節電に努めていけば良いと考えます。
	産廃	本社同様に、特に猛暑と極寒の時期は、社員の健康に配慮をし、休憩時間の延長やエアコンの設定制限を特に設けませんでしたが、長年に渡るEA活動の意識が行動にも反映され、毎年数%の節電効果を達成しております。来期は特に業務の生産効率を上げ、そこからのCO2削減にも取り組んでまいります。
自動車燃料の削減 （二酸化炭素排出削減）	事務	事務員用の軽自動車、社長のハイブリッド車の使用量はほぼ平年並みです。今後も社長自らが先頭となってエコドライブの啓蒙に努めてまいります。
	建設	車両台数は昨年と変わらず、ハイブリッド車とディーゼル車を揃え、燃費向上に貢献しております。 今期は売上、現場稼働数が減少したため、それに比例し使用量も減少したと思われます。働き方改革で、業務の生産性向上、普段の業務行動において、いかに無駄をなくして効率よく仕事をしていくのかが求められることとなり、来期も引き続きの課題として取り組んでまいります。また安全運転にも気を付けてまいります。
	産廃	前年比で運搬・処理の数量ダウンに比例して燃料も使用量減となりました。低燃費・低騒音油圧ショベルを前期に続いて1台更新し、使用量減の効果に繋がりました。作業車がほとんどを占める当部門では、今後も運搬量・処理量に応じて燃料の使用量も左右されますが、車両管理、特にエコドライブの意識は社員一人一人に根付いると信じ、次年度も引き続きエコ・安全運転に取り組んでまいります。
水道水の削減	事務	使用量が昨年より増加に転じました。昨年よりテナントは全館稼働をしておりますが、当社も含めて、特に水道使用量が増加する大きな事象はありませんでしたので、以前から懸念している、経年による水道配管の漏水の可能性にも注意を払いつつ、来年以降も節水に努めてまいります。
	産廃	特に乾燥の秋季において現場での埃飛散対策、及び作業車の洗車による、水を使用する機会が特に増えたことが主因と思われます。特に近隣の住宅への埃飛散に十分配慮をし、使用量は常にチェックし、引き続き1人1人こまめな節水意識向上に努めます。
建築廃棄物の削減	建設	前年比で廃棄量減少の主因は、売上高のダウンに加え、施工現場からの廃材の自社持ち帰りが減少 （元請業者が現場にて処理） に依るところが大きいと思われます。廃材発生率を抑えた材料発注も浸透しております。原価管理に対する意識を高めるとともに、生産性の向上に努めてまいります。
産廃中間処理における 埋立処分比率の削減	産廃	前年比、埋立処分比率が上昇し、また収集運搬量、処分量ともに減少となりました。廃棄物全体に占めるがれきの割合が増加していることは、排出者様においても再資源化の取り組みの表れとも解釈できます。排出現場に応じて廃棄物の種類が都度変わることがありますので、引き続き可能な限り分別を徹底し、リサイクル率向上に取り組んで行きます。
一般廃棄物の削減	事務	取引先様との業務におけるDXの推進、また帳簿類の電子保存法への対応など、ﾍﾟｰﾊﾟｰﾚｽの環境が年々進んでおります。引き続き社内排出ゴミは分別をしっかり行い、再資源化の取り組みを今後も徹底してまいります。
環境配慮製品の使用促進	建設	材料調達の際のSDS取得がほぼ必須となっており、取得率98%以上の実現に向け、引き続き対応していくと同時に、（化学物質）材料の適正管理に努めます
グリーン購入推進	事務	ｴｺﾏｰｸ商品の購入を推進しており、次年度以降も98%以上を目指し推進していきます。
地球環境貢献 （清掃/ｴｱｺﾝ簡易点検）	全部門	清掃をすることで、「気づき」や「感謝の心」、そして「チームワーク」が育まれていきます。社員ひとりひとりが取引先をはじめ、職場近隣の方々に対して感謝の気持ちを育み、また行動に表すためにも、清掃は当社にとって大切な活動となっております。

次年度の進め方

環境経営目標値は「5. 環境経営目標」で示す通り

・二酸化炭素の排出量削減関連は2024年度基準で年率1%の削減を目標に改善活動を継続する。

・「中間処理の埋立て処分比率の削減」は前年値より1%削減を目標に改善活動を継続する。

環境取組は「6. 環境活動計画（対象部門と取組内容）」で示す基本的な取組項目の徹底を継続する。

次年度(2025年)の目標及び行動計画

負荷の自己チェックコア指標	環境方針(ｷｰﾜｰﾄﾞ)	環境目標項目	責任部門 責任者	基準値 (基準年度)		年度毎目標・達成手段 2024年10月～25年9月
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量削減	本社総務部 白井信子 環境事業部 本庄啓記	37,092 kWh 18,175 kg-CO2 2023年10月～24年9月 二酸化炭素排出係数 0.490	基準年度比 目標値 達成手段	99% 17,993 kg-CO2 昼休みのｴｱｺﾝ・電灯のｵﾌ 不要な電気のこまめな消灯 外出・退社時のPC電源OFF 空調温度の適正化(夏26、冬22)
		自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	建材事業部 足立直樹 環境事業部 本庄啓記	ｶﾞｿﾘﾝ 8,975 ℓ 軽油 61,187 ℓ 181,412 kg-CO2 2023年10月～24年9月	基準年度比 目標値 達成手段	99% 179,598 kg-CO2 ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞの実施 不要な荷物の積載禁止 ﾀｲﾔ空気圧の確認 ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ車の採用
廃棄物排出量	廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	本社総務部 白井信子	2023年10月～24年9月	基準年度比 目標値 達成手段	 管理強化 地域の廃品回収へ提供 分別の徹底 使い捨て製品の購入抑制 業務書類のﾍﾟｰﾊﾟｰﾚｽ化推進
		産業廃棄物の中間処理における埋立比率の削減	環境事業部 工場長 本庄啓記	中間処理量 4,062t 埋立量 1,812t 埋立比率 44.6% 2022～2024年平均	基準年度比 目標値 達成手段	99% 44.2% 可能な限り分別の徹底
		自社の産業廃棄物の分別リサイクル体制の構築	建材事業部 石原政信	金属の一部のみ実施 2023年10月～24年9月	基準年度比 目標値 達成手段	 管理体制構築 資源となる廃棄物の選定 分別置き場の確保 ｺﾝﾃﾅ容量目一杯活用 倉庫内常に整理整頓
総排水量	水使用量の削減	節水	本社総務部 藤城理子 環境事業部 鈴木圭美	731 ㎥ 2023年10月～24年9月	基準年度比 目標値 達成手段	99% 724 ㎥ 朝礼などで節水の呼びかけ
製品	製品への環境配慮	内装工事に使用する化学物質の管理	建材事業部 足立直樹	使用材料のMSDS取得率 98 % 2023年10月～24年9月	基準年度比 目標値 達成手段	 98 % 使用材料のMSDSの100%取得維持 化学物質使用量の抑制検討
社会貢献	地域環境への貢献	会社周辺の清掃 ｴｱｺﾝ簡易点検	総務部長 白井信子	4回以上/年 2023年10月～24年9月	 達成手段	100% 4 回以上/年 会社周辺の年4回の清掃 屋外のｴｱｺﾝ室外機の点検

9. 環境関連法規の違反及び訴訟等の有無

当社の関連する環境関連法規リスト

	法規	適用内容	遵守状況
1	騒音規制法 5,6,10,14条	定められた基準値及び時間帯の範囲内で 業務を行なう	適正
2	振動規制法 5,6,10,14条	定められた基準値及び時間帯の範囲内で 業務を行なう	適正
3	廃棄物処理法及び 清掃に関する法律 11,12,13,14条	事業活動によって生じた廃棄物を 自らの責任において適正に処理を行なう	適正
4	愛知県　廃棄物の適正な処理の促進に関する条例第4,7,8条及び同施行規則第8条	最終処理施設の視察実施 県外産業廃棄物の県内搬入の届出 県外産業廃棄物の県内搬入状況の報告	適正
5	建設リサイクル法 5,6,9,10,12,13,16,18条	発注者への計画等説明と完了報告、 下請業者への告知、県知事への届出	適正
6	オフロード法 4条	自動車排出窒素酸化物の排出抑制の規制遵守 行政（市）の施策に協力	適正
7	大気汚染防止法 18条	建築物の解体に伴う石綿等の除去作業等に係る 石綿の調査・報告・記録保管・作業責任者の選任	適正
8	自動車NOX・PM法 4,6,12条	自動車排出窒素酸化物の排出抑制の規制遵守 行政（市）の施策に協力	適正
9	フロン排出抑制法 法2、4条　法19の3 法20条の2	簡易点検の実施　・　適正な処理 点検記録の作成　・　保管	適正

遵守状況確認日　令和6年9月18日

環境関連法規等の遵守状況

事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありません。

尚、関連機関からの違反の指摘・指導はありません。

利害関係者からの訴状も過去3年間ありませんでした。

10. 代表者による評価と見直し

環境方針、環境目的、及び目標をはじめ、当社の環境システムに係る要素の変更の必要はありません。

最近、EA21の認証登録後10年以上経過した企業が、維持管理を諦めて、認証を取り下げるケースが多々起きているという話を聞く。長年の活動の中で、環境負荷（主に燃料、光熱費）の改善の余地がなくなり、経営全体への効果も薄くなってきたというのが理由とのことだが、

当社も活動を始めて10数年が経ち、環境負荷の改善は十分に為されてきたと自己評価している。ただ、環境負荷の改善以外にも、生産性（業務効率等）の改善にも目を向けることで、そこからもエネルギー削減やCO2排出量の削減に繋げることができ、会社全体の中で新たな改善の取り組み余地はまだ十分にある。

EA21のマネジメントシステムの活動目的は「改善を継続し、より良い会社づくり」であり、より良い会社作りは、まだまだその途上であり、今後も本活動を粘り強く、会社一丸となって継続していきたい。また「建築」「廃棄物処理」の事業を通じ、お客様からや地域社会から強く信頼いただける会社を目指していきたい。

令和6年10月24日

飯島物産株式会社

代表取締役　飯島正三